

新型コロナウイルス感染症をめぐるコミュニケーション

—2021 年国内調査—

Communication during the COVID-19 pandemic: a 2021 survey

石橋 真帆 Maho Ishibashi 関谷 直也 Naoya Sekiya

目 次

1. はじめに
2. 調査概要
 - 2.1 調査方法
 - 2.2 調査対象者の属性
 - 2.3 調査実施時の感染状況
3. パンデミック下の市民を取り巻く社会環境
 - 3.1 利用メディアと接触した情報
 - 3.2 情報源に対する信頼
 - 3.3 新型コロナウイルス感染症をめぐる規範
4. 新型コロナウイルス感染症をめぐるコミュニケーション
 - 4.1 二項対立的意見の形成
 - 4.2 対立する意見のうけとめ
 - 4.3 対立意見への接触、理解、寛容性と印象
5. おわりに

参考文献

単純集計表

キーワード：新型コロナウイルス感染症、情報、メディア、コミュニケーション、寛容性

執筆分担：

石橋真帆 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 1～5

関谷直也 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター

1. はじめに

2020年にパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症は2023年5月8日に感染症法上「2類相当」の扱いから、「5類感染症」へと移行した（厚生労働省，2023）。法令上の位置づけ変更に伴い、新型コロナウイルス感染症に対する防護措置としての外出自粛要請や入院措置・勧告などの私権制限はなくなり、マスク着用や消毒といった感染防止対策は引き続き推奨されたものの、実施継続の判断は個人や事業者の判断に委ねるところとなった（ibid）。

新型コロナウイルス感染症は、感染リスクという物理的害だけではなく、副次的に社会心理的課題を顕現させた。特に、パンデミックが長期化するにつれて先鋭化した問題が、どのリスクに優先的に対処していくかという問題である。特に、緊急事態宣言や外出自粛要請が発出された初期とは異なり、新型コロナウイルス感染症が日本で蔓延してより2年、3年と経過していく際にはウイルスそのものの変異やワクチンの普及なども相まって、その他の社会活動と感染対策についていかにバランスを取るかが問題となった。

しかし、いかにバランスを取るかについての市民間の合意形成は容易ではなかった。感染リスクやワクチン接種の捉え方については市民の間にグラデーションが存在し、しばしばコミュニケーションの綻びが露呈した。新型コロナウイルス感染症のリスクそのものが、基礎疾患の保有者や高齢者にとっては大きくなるなど個人差を伴うものであったこともあり、特定の人はリスクに鋭敏ならざるを得なかった。感染リスクに配慮するあまり感染拡大初期には、「マスク警察」「自粛警察」のような攻撃性をともなった人々のふるまいも話題となった¹。一方で、感染対策の一環であるワクチン接種に対して、不安を感じる人もいた。このように、パンデミック下におけるコミュニケーションでは、異なる立場が散在する中でいかにして折り合いをつけていくかという課題が明瞭となった。

リスクコミュニケーションにおいては、多くの場合「対話」や「共考」が求められる（木下，2016；奈良・平川，2023）。したがって、パンデミックにおける意見形成の様相を記述することは、いかにして社会的対話を進めていくべきかを考えるうえでの典型的事例の資料として重要である。本稿では、特定のトピックについて対立構造が見られる際のコミュニケーションに着目し、新型コロナウイルス感染症に関する意見形成と、異なる意見相互のうけとめに着目して分析を行う。

¹ 例えば、宇田川はるか・山内真弓（2020年6月29日）、学校に通報も 非着用に激高する「#マスク警察」の心理とは、毎日新聞、<https://mainichi.jp/articles/20200629/k00/00m/040/100000c>

表 2.1.1 調査概要

期間	2022 年 11 月 8 日—11 月 14 日
機関	楽天インサイト株式会社
対象	16 歳以上のオンラインモニター
回収票	6,959 票（性年代均等割付）※
有効票	6,952 票（7 票除外）
内容	メディア利用時間、COVID-19 に関する情報接触頻度・内容、COVID-19 政策への態度、規範意識、デモグラフィック等

※男女×10-70 代：14 セグメントにて各 500 票回収を目標値としたが、うち 10 代男性セグメントについては回収未達成となった。

2. 調査概要

以下、調査概要と調査対象者の属性について述べる。加えて、結果解釈の参考として調査時の社会背景としての感染状況を付記する。

2.1 調査方法

調査概要を表 2.1.1 に示す。調査は 2022 年の 11 月 8 日から 11 月 14 日にかけて、株式会社楽天インサイトが保有する 16 歳以上のオンラインモニターを対象として行われた。性別（男性、女性）、年代（10 代、20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上）について均等割り付けを行い、各セグメントに 500 票の回収を目標とした。しかしながら、10 代男性のセグメントは回収を達成できなかった。さらに、データの精度を高めるために、一定の基準によって回答票をスクリーニングし、最終的な分析対象は 6,959 票となった。本調査の実施に当たっては、東京大学大学院情報学環・学際情報学府ヒトを対象とした実験研究および調査研究に関する倫理審査委員会の承認を得た（審査結果通知第 21-33 号）。なお、本データは石橋（2024a）および石橋（2024b）と同一のものである。

本稿では、記述的価値を重視するため、主に記述統計およびクロス集計表を用いて分析を行う。データの統計的分析にあたっては IBM SPSS Amos ver. 27 を用いた。

2.2 調査対象者の属性

続いて、表 2.2.1 に調査対象者の属性を示す。性別、年代については均等割り付けのため、概ね同数となっている。最終学歴については大学卒業の割合が最も高く 42.8%であった。

表 2.2.1 調査対象者の属性

	n	%
性別		
男性	3455	49.7
女性	3497	50.3
年代		
10 代	954	13.7
20 代	998	14.4
30 代	1000	14.4
40 代	1000	14.4
50 代	1000	14.4
60 代	1000	14.4
70 代以上	1000	14.4
最終学歴		
中学校	145	2.1
高校	1941	27.9
短大・高専・専門学校	1493	21.5
大学	2978	42.8
大学院	346	5.0
その他	49	0.7
世帯年収		
～200 万円未満	967	13.9
200 万円以上～400 万円未満	1612	23.2
400 万円以上～600 万円未満	1595	22.9
600 万円以上～800 万円未満	1150	16.5
800 万円以上～1,000 万円未満	796	11.4
1,000 万円以上～1,200 万円未満	390	5.6
1,200 万円以上～1,400 万円未満	170	2.4
1,400 万円以上	272	3.9

世帯年収に関しては、200 万円以上～400 万円未満が 23.2%と最も高い割合を示し、続いて 400 万円以上～600 万円未満が 22.9%と高い。雇用形態に関しては正規の職員・従業員が最も

表 2.2.1 調査対象者の属性（続き）

	n	%
雇用形態		
正規の職員・従業員	2610	37.5
非正規の職員・従業員（パート、アルバイト勤務など）	1095	15.8
自営業	334	4.8
専業主婦/主夫	881	12.7
学生	974	14.0
無職	926	13.3
その他	132	1.9

割合が高く 37.5%を占めていた。

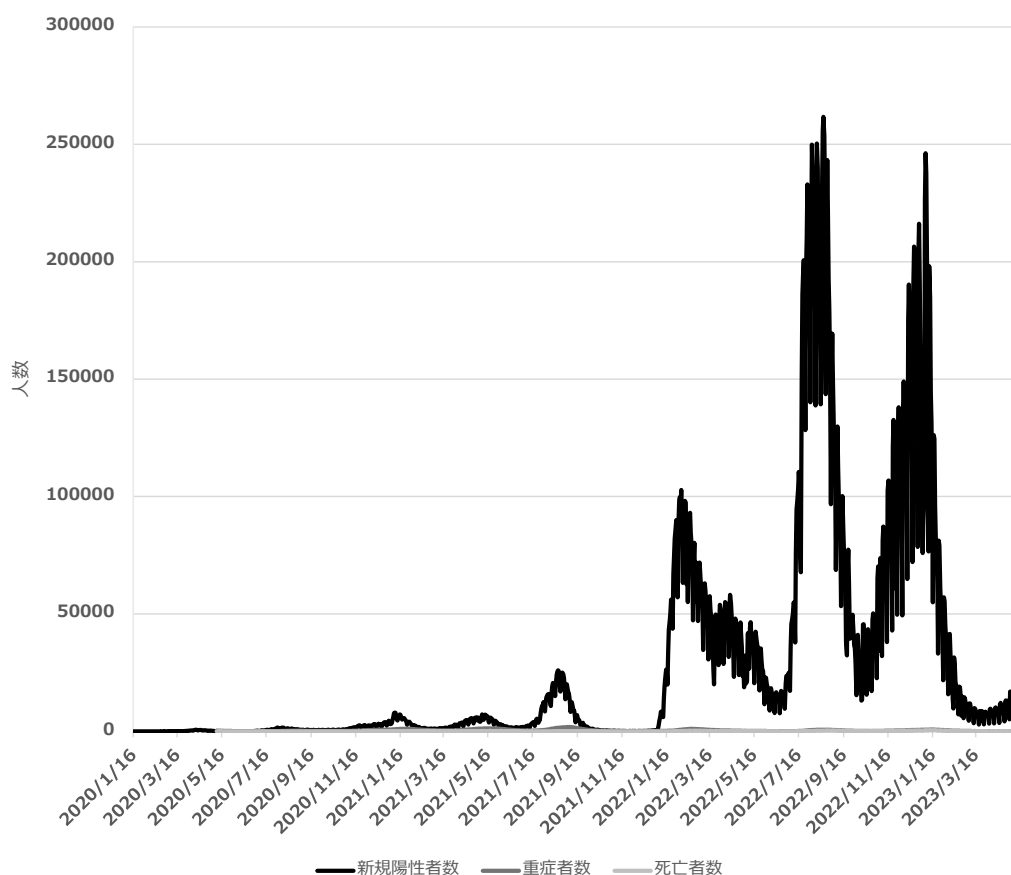
2.3 調査実施時の感染状況

調査が実施された、2022 年 11 月 8 日から 11 月 14 日における新型コロナウイルス感染症の感染状況は表 2.3.1 のとおりである。また、新型コロナウイルス感染症の日本国内における感染状況を経時的に示したものが図 2.3.1 である。全体的に見ると調査実施時期における感染状況は感染蔓延初期の 2020 年に比べて高く、さらに 2022 年 8 月から 9 月ごろにかけての直前の感染者急増が収まり、ふたたび感染増加に転じていく途上であったことが窺える。一方で、2021 年 2 月よりワクチン接種が開始されたことや²、2022 年 11 月以降はオミクロン株が感染の主流であり、症状や重症化の様相に変化が生じたことにも留意されたい（国立感染症研究所，2022）。

² NHK（2021 年 2 月 16 日）．ワクチン あすから先行接種開始 医療従事者約 4 万人に．NHK.
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210216/k10012870301000.html>

表 2.3.1 調査実施期間における新型コロナウイルス感染症の状況

	新規感染者数	新規重症者数	新規死亡者数
2022 年 11 月 8 日	81,377	193	80
2022 年 11 月 9 日	87,220	193	104
2022 年 11 月 10 日	78,301	209	84
2022 年 11 月 11 日	74,160	226	90
2022 年 11 月 12 日	79,300	208	80
2022 年 11 月 13 日	68,773	226	53
2022 年 11 月 14 日	38,016	273	74



厚生労働省 (n. d.). データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－. <https://covid19.mhlw.go.jp/>

(Retrieved 2025.01.30.) もとに筆者作成。

図 2.3.1 日本国内における新型コロナウイルス感染症感染状況の経時的変化

3. パンデミック下の市民を取り巻く社会環境

本章では、新型コロナウイルス感染症に対する意見形成の前提として、いかなる社会環境のもとで市民が生活を行っていたのかを素描する。詳しくは、パンデミック下において市民がどのようなメディアから、どういった新型コロナウイルス感染症に関する情報を取得したのかという情報環境の観点、および市民をとりまく明示的、暗示的規範やそれに付随する感染対策の観点から記述する。

3.1 利用メディアと接触した情報

まず、市民が新型コロナウイルス感染症について情報を得る際に利用したメディアについて示す。テレビ、新聞、ソーシャルメディアなどを含む 19 項目の情報行動を列挙し、それぞれからの新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手状況を「かなり得た」から「まったく得なかった」までの 5 件法で問うた結果が図 3.1.1 である。なお、本図においては別問にて把握した各メディアを利用していない回答者も含めて記載してある。

「かなり得た」と「やや得た」の合計割合が高いメディアについて順に言及すると、第一が「テレビ(ニュース)」の 54.6%（「かなり得た」13.8%、「やや得た」40.8%）であり、「ポータルサイト(Yahoo!ニュース、Google ニュース等)」で 37.5%、「かなり得た」7.0%、「やや得た」30.5%）「テレビ(ワイドショー、情報番組)」で 33.5%（「かなり得た」6.6%、「やや得た」26.9%）、「家族や友人・知人との会話(LINE 等チャット・メール含む)」で 21.8%（「かなり得た」3.3%、「やや得た」18.5%）と続く。主に報道や解説を行うテレビと、ポータルサイトが新型コロナウイルス感染症について知るためのメディアとして機能したといえる。

また、新型コロナウイルス感染症に関しては多様な情報が伝えられた。その中でも、リスクを伝えるような情報（感染者数や、症状、医療の逼迫状況など）について、前述のメディアそれぞれからどの程度得たかを「かなり得た」から「まったく得なかった」までの 5 件法にて問うた。結果を図 3.1.2 に示す。なお、本図では各メディアを新型コロナウイルス感染症関連の情報取得において利用していない回答者も含めて記載してある。

「かなり得た」と「やや得た」の合計割合が高いメディアとしては、第一が「テレビ(ニュース)」の 45.0%（「かなり得た」10.6%、「やや得た」34.4%）であり、「ポータルサイト(Yahoo!ニュース、Google ニュース等)」で 26.6%「かなり得た」5.1%、「やや得た」21.5%）、「テレビ(ワイドショー、情報番組)」で 26.2%（「かなり得た」5.5%、「やや得た」20.7%）、「新聞記事(紙)」で 16.5%（「かなり得た」3.3%、「やや得た」13.2%）、「家族や友人・知人との会話(LINE 等チャ

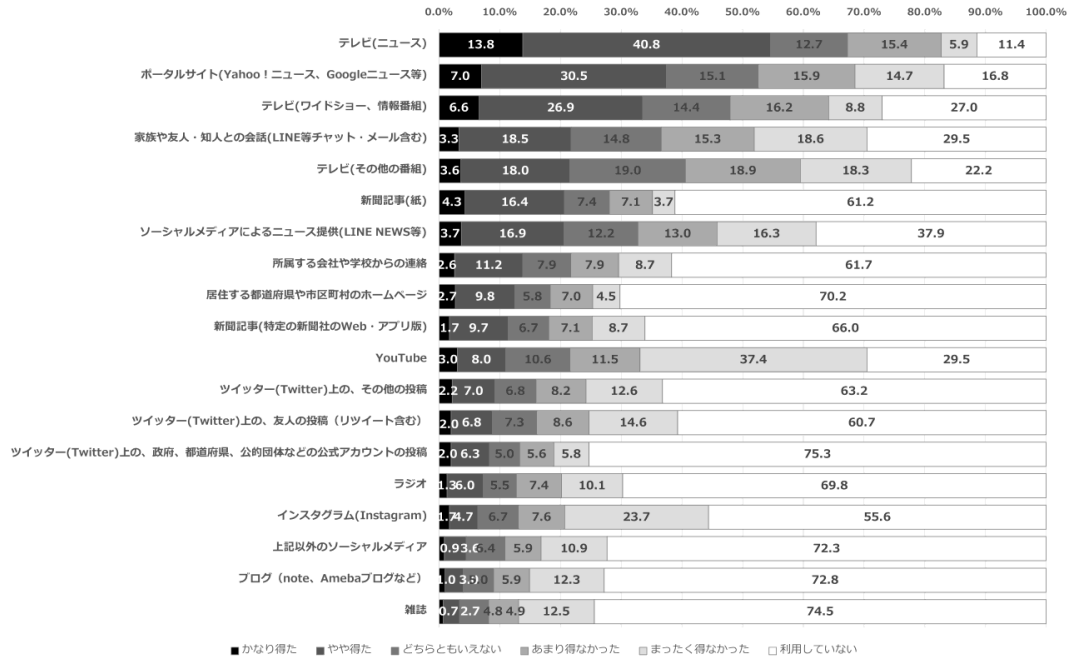


図 3.1.1 新型コロナウイルスに関する情報の入手に用いたメディア

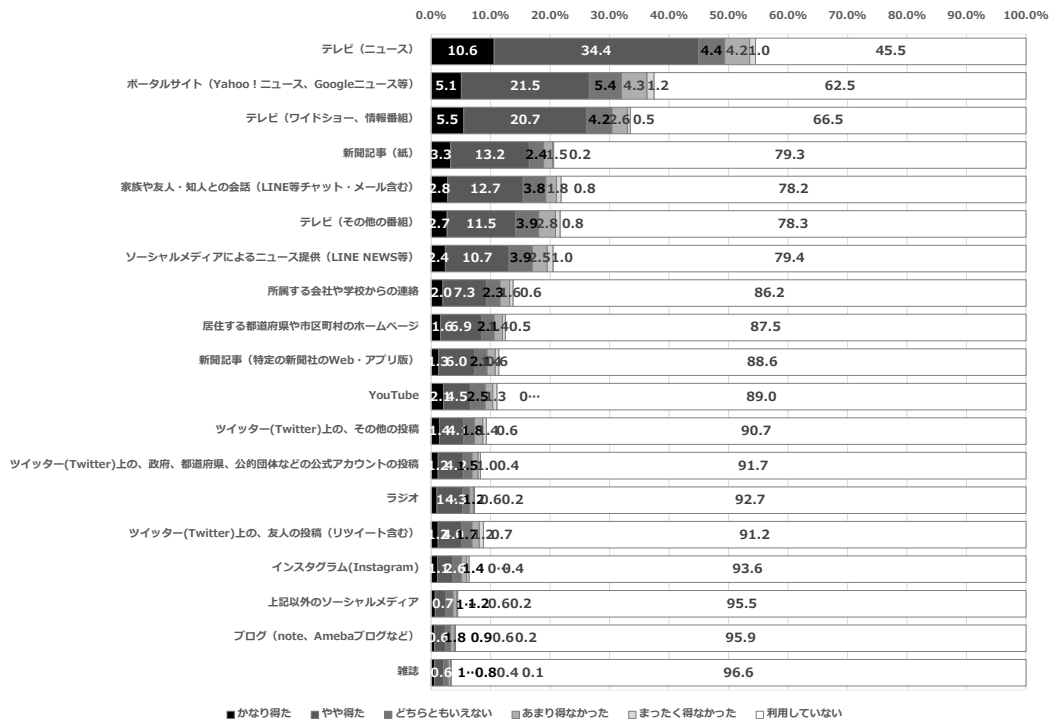
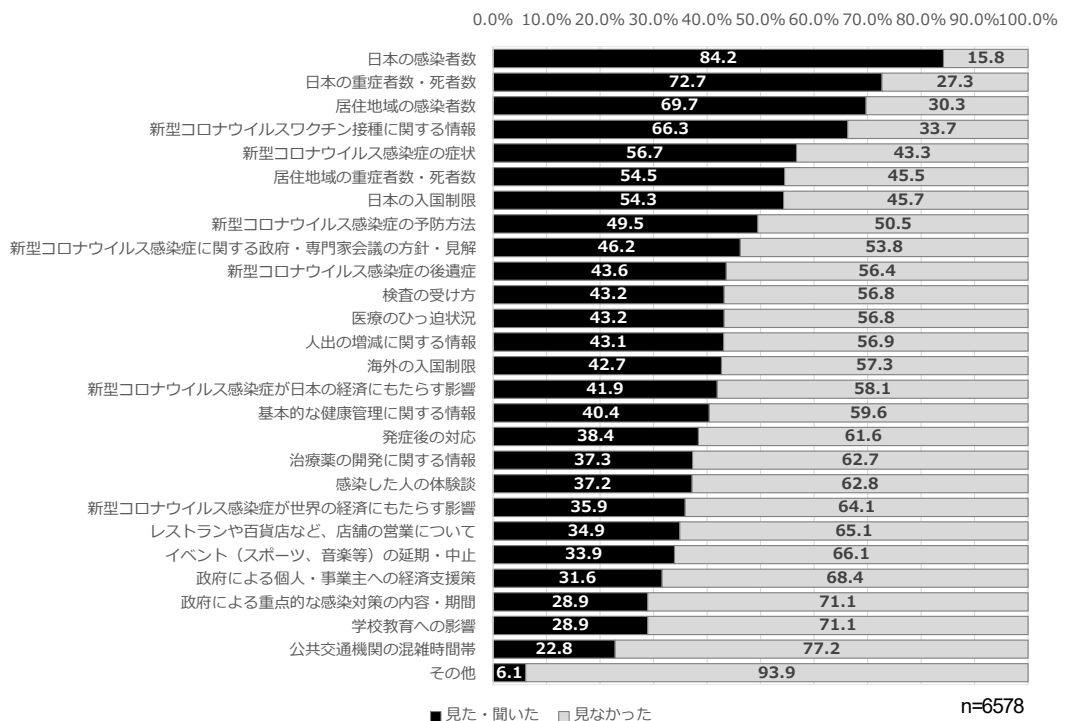


図 3.1.2 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報の入手メディア

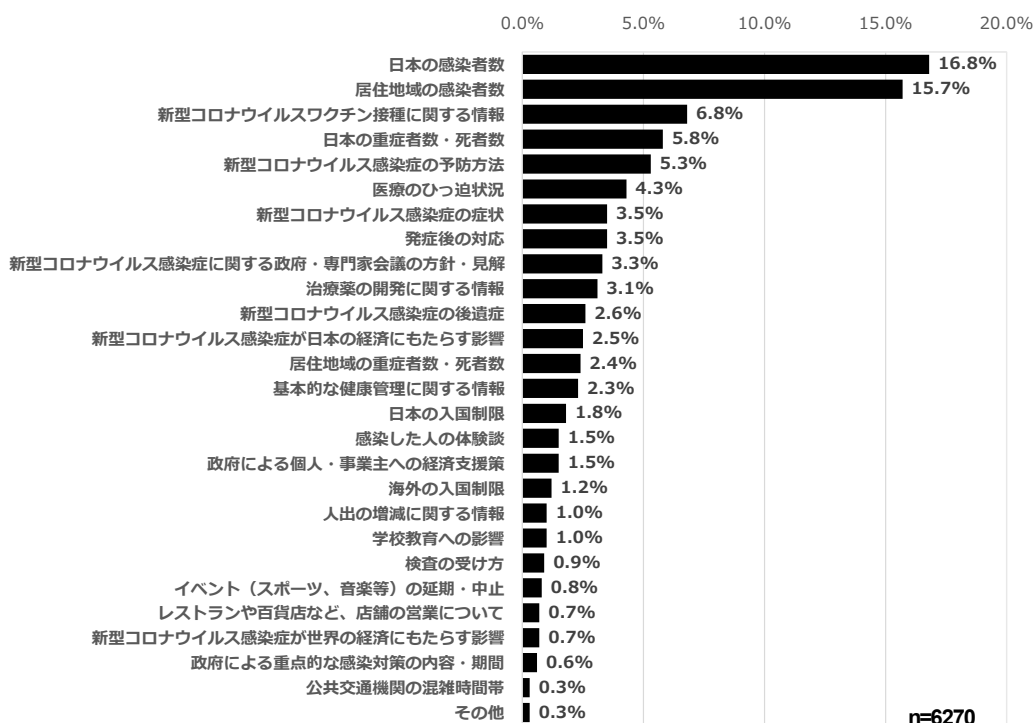


本項目は新型コロナウイルスに関して情報取得を行った回答者（n=6,578）のみに尋ねた。

図 3.1.3 新型コロナウイルス感染症に関して接触した情報の種類

ット・メール含む）」で 15.5%（「かなり得た」2.8%、「やや得た」12.7%）と続く。メディア間の順序に着目したとき、おおむね前述の新型コロナウイルス感染症に関する情報取得の結果と一致していることがわかる。新型コロナウイルス感染症に関して情報発信の中心を担っていたメディアは、感染症リスクに関するメッセージ内容を比較的多く含んでいたと類推される。

続いて、新型コロナウイルス感染症に関して発信された各情報を見聞きしたか、「見た・聞いた」および「見なかった」の2択で問うた結果が図 3.1.3 である。なお、情報の種類のカテゴリ化に際しては橋元ら（2020）、Pew Research Center（n.d.）といった既存調査を参照した。最も「見た・聞いた」の割合が高かったものは「日本の感染者数」で 84.2%である。さらに、「日本の重症者数・死者数」で 72.7%、「居住地域の感染者数」で 69.7%、「新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報」66.3%、「新型コロナウイルス感染症の症状」で 56.7%と続く。よく見聞きされた情報はいずれも感染リスクや病状、ワクチンに関わるものであり、新型コロナウイルスがもたらした教育、経済への影響や感染した際の個人レベルの対処法な



本項目は図 3.1.3 の質問において 1 項目以上「見た・聞いた」と答えた（n=6,270）のみに尋ねた。

図 3.1.4 新型コロナウイルス感染症に関して最も重要と思った情報

どは比較的回答率が低かった。

さらに、前述の情報のうちどれが最も重要と思うかを問うた結果が図 3.1.4 である。回答率が高い順に、「日本の感染者数」が 16.8%、「居住地域の感染者数」が 15.7%、「新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報」が 6.8%となっており、感染者数がリスクを示す指標として市民から重要視されていた様子が窺える。

3.2 情報源に対する信頼

市民が各情報源をどの程度信頼しているのか、感染症に関してメッセージを発信する専門家や地方自治体、政府などのアクターを列举して、「とても信頼している」から「全く信頼していない」の 5 件法にて問うた結果が図 3.2.1 である。

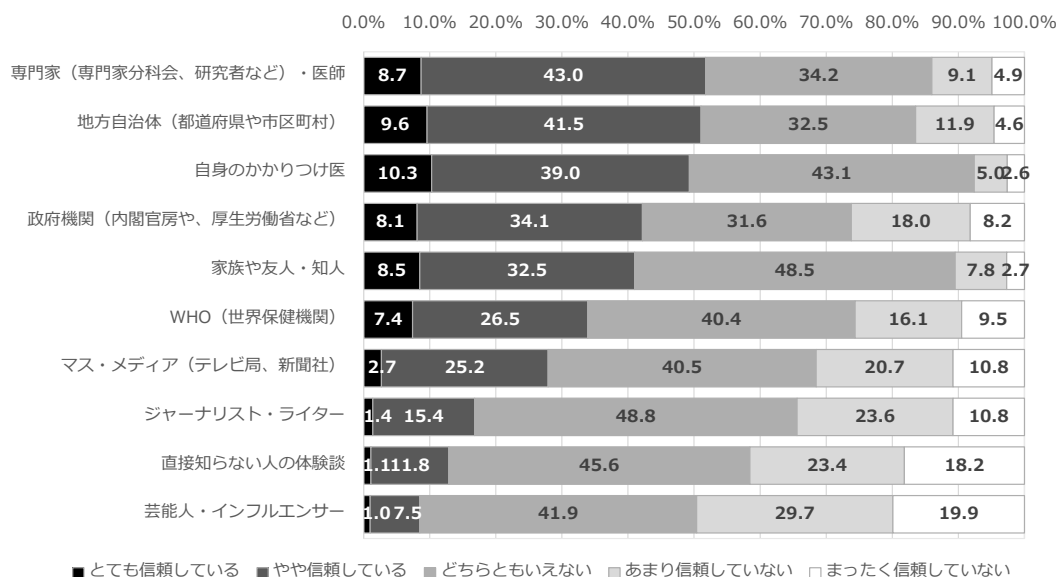
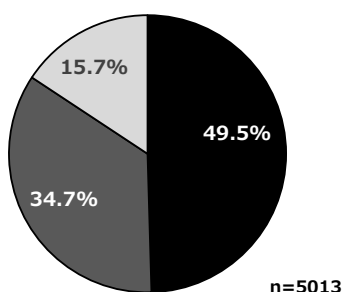


図 3.2.1 情報源に対する信頼

結果として、「とても信頼している」と「やや信頼している」を信頼よりの割合が高かったものとしては、「専門家（専門家分科会、研究者など）・医師」が 51.7%（「とても信頼している」8.7%、「やや信頼している」43.0%）、「地方自治体（都道府県や市区町村）」が 51.1%（「とても信頼している」9.6%、「やや信頼している」41.5%）、「自身のかかりつけ医」が 49.3%（「とても信頼している」10.3%、「やや信頼している」39.0%）、「政府機関（内閣官房や厚生労働省など）」が 42.2%（「とても信頼している」8.1%、「やや信頼している」34.1%）、「家族や友人・知人」が 41.0%（「とても信頼している」8.5%、「やや信頼している」32.5%）であった。

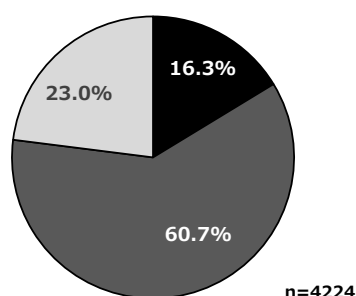
3.3 新型コロナウイルス感染症をめぐる規範

続いて、有職者、学生（n=5,013）に対象を絞り、新型コロナウイルス感染症をめぐっていかなる規則が存在したかを問うた。結果を図 3.3.1 に示す。49.5%の回答者は「明確にある」と答え、34.7%は「明確にはないが、暗黙のルールがある」と答えた。「ない」と答えた回答者は 15.7%であった。すなわち、おおよそ半数程度は職場や学校において明示的に新型コロナウイルス感染症についての対応策が存在しており、「暗黙のルール」と合わせると 84.2%の回答者が新型コロナウイルスに関する何らかの規範を知覚していたといえる。



■ 明確にある ■ 明確にはないが、暗黙のルールがある □ ない

図 3.3.1 会社や学校で新型コロナウイルス感染症予防に関する規則はあるか



■ かなり制限するもの ■ 少し制限するもの □ 制限はなく、注意程度

図 3.3.2 規則はどの程度行動を制限するものか

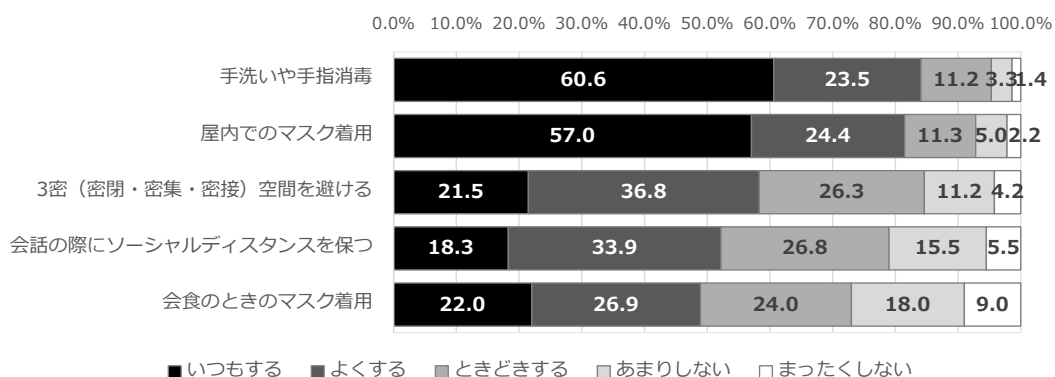


図 3.3.3 感染対策の状況

さらに、会社や学校における規則「明確にある」「明確にはないが、暗黙のルールがある」と答えた回答者（n=4,224）に対して、それがどの程度行動を制限する者であったかを問うたものが図 3.3.2 である。結果として、「かなり制限するもの」という回答は 16.3%、「少し制限するもの」という回答は 60.7%、「制限はなく、注意程度」については 23.0%と、おおむね厳格な制限を伴うものではなかったといえる。

続いて、感染対策の状況について、手洗い、マスク着用など代表的な感染対策の実施状況を、それぞれについて「いつもする」から「まったくしない」までの 5 件法にて尋ねた結果を図 3.3.3 に示す。「いつもする」と「よくする」の合計割合が高いものとしては、「手洗いや手指消毒」で 84.1%（「いつもする」60.6%、「よくする」23.5%）、続いて「屋内でのマスク

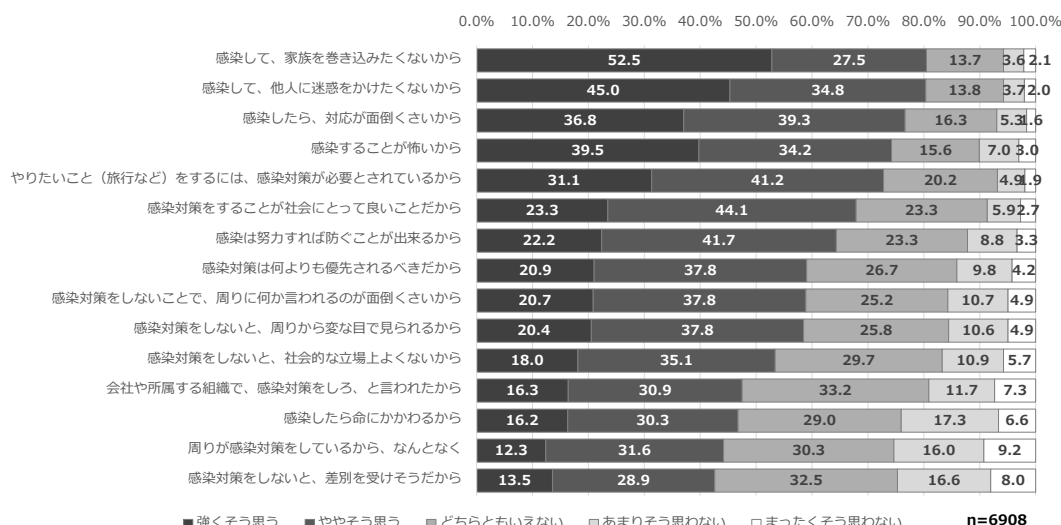


図 3.3.4 感染対策をする理由

着用」で 81.4%（「いつもする」57.0%、「よくする」24.4%）、「3密（密閉・密集・密接）空間を避ける」が 58.3%（「いつもする」21.5%、「よくする」36.8%）となった。「手洗いや手指消毒」、「屋内でのマスク着用」については 8 割が実施している状況であり、これらはパンデミック下において定着していた行動といえる。

前述の感染対策の状況を踏まえて、どのような理由で感染対策をしていたかを尋ねた結果が図 3.3.4 である。回答は図に示す 15 の感染対策の理由を提示し、それぞれ「強く思う」から「まったくそう思わない」の 5 件法にて求めた。

「強く思う」および「やや思う」の合算割合が高いものとしては、「感染して、家族を巻き込みたくないから」で 80.0%（「強く思う」52.5%、「やや思う」27.5%）、「感染して、他人に迷惑をかけたくないから」で 79.8%（「強く思う」45.0%、「やや思う」34.8%）、「感染したら、対応が面倒くさいから」で 76.1%（「強く思う」36.8%、「やや思う」39.3%）、「感染することが怖いから」で 73.7%（「強く思う」39.5%、「やや思う」34.2%）、「やりたいこと（旅行など）をするには、感染対策が必要とされているから」で 72.3%（「強く思う」31.1%、「やや思う」41.2%）となり、利他性が象徴される理由が比較的肯定的な回答を得ていた。

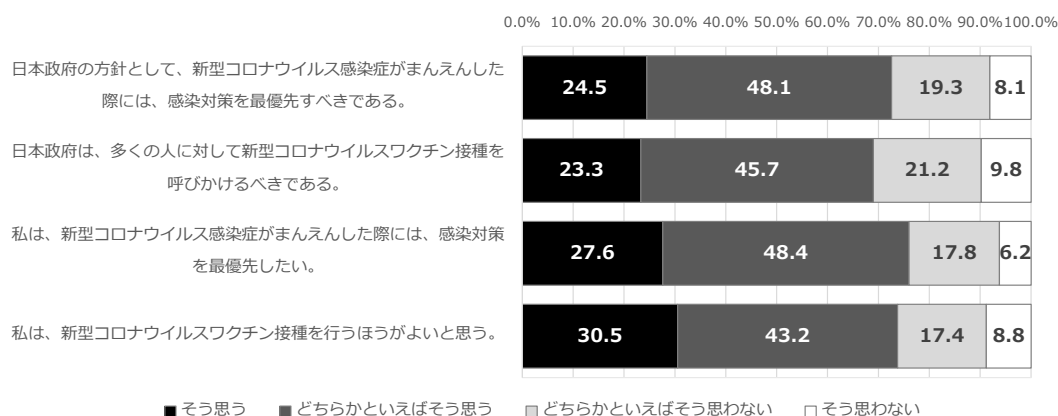


図 4.1.1 新型コロナウイルス感染症に対する各意見への賛否

4. 新型コロナウイルス感染症をめぐるコミュニケーション

4.1 二項対立的意見の形成

新型コロナウイルス感染症パンデミックにおいては、感染リスクのみならず多様な経済的なリスク、教育のリスク、医療逼迫のリスクなど多様なリスクについて対応することが求められた。感染拡大初期においては、感染リスクを抑制することに重きが置かれ、「緊急事態宣言」発出に伴う外出自粛要請など、社会活動に緩やかな制限が設けられた。しかしながら、パンデミックが長期化するにつれて、その他のリスクもまた重要性を増した。とりわけ政策決定に関しては、感染対策と社会経済活動という2つの争点が集めた（e.g. 一般社団法人日本経済団体連合会，2021）。このように、長期化するパンデミックに由来する精神的物理的負担や、メディアにおける争点の出現は市民の意見形成にも影響を与えたと考えられる。そこで、新型コロナウイルス感染症のリスクおよびワクチンに関するトピックについて4つの意見（「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。」「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。」「私は、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい。」「私は、新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。」）を提示し、賛同するか否かを問うた。結果を図4.1.1に示す。

結果として、すべての意見文について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という回答が7割弱から7割強いを占める結果となっていた。中でも両者を合算した回答割合が最も高い意見は「私は、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先し

表 4.1.1 どのくらいの人が同じ考えを持っていると思うか

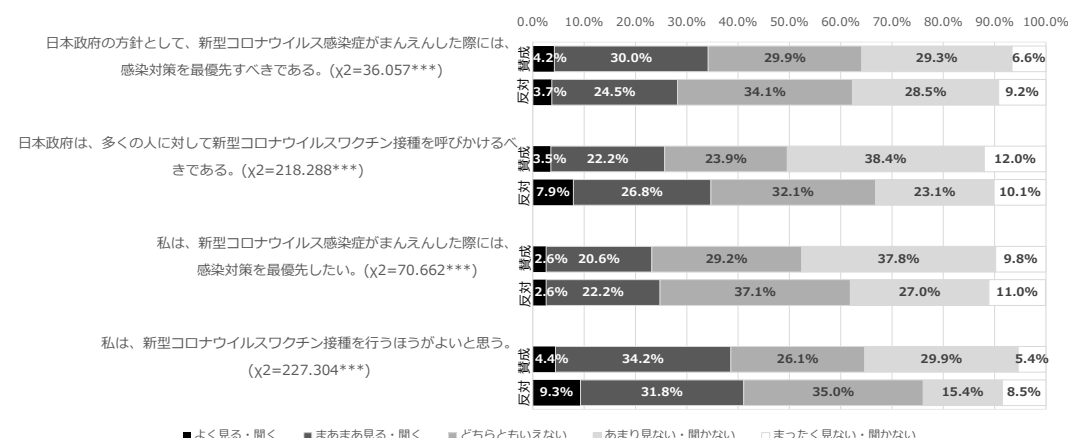
	賛成 (n=5, 046)	反対 (n=1, 906)	t	p
日本ではどのくらいの人が、前問のあなたの答えと同じ意見を持っていると思いますか。	54.6	46.0	-16.157	***
	[54.1; 55.0]	[45.1; 46.9]		
日本ではどのくらいの人が、前問のあなたの答えと同じ意見を持っていると思いますか。	60.0	45.3	-28.828	***
	[59.5; 60.5]	[44.4; 46.2]		
日本ではどのくらいの人が、前問のあなたの答えと同じ意見を持っていると思いますか。	60.6	43.9	-29.223	***
	[60.1; 61.1]	[42.9; 44.9]		
日本ではどのくらいの人が、前問のあなたの答えと同じ意見を持っていると思いますか。	62.4	42.9	-35.330	***
	[61.9; 62.9]	[42.0; 43.9]		

*** $p < .001$

たい。」で 76.0%であり（「そう思う」 27.6%、「どちらかといえばそう思う」 48.4%）、比較的多くの人が個人としては感染対策を優先する立場であったことが窺える。

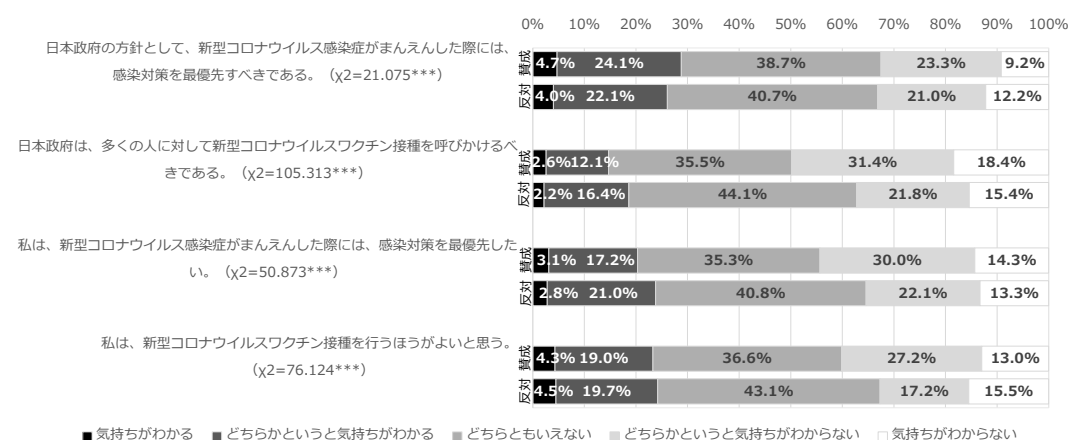
続いて、一般的にどの程度の人が自身と同じ回答をしているかについて、0%から 100%の数値にて回答を求め、前述の文章における賛成（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と反対（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」）ごとに回答結果を示したものが表 4.1.1 である。賛成派、反対派の比較においては、いずれの意見文に関しても反対派の方がより自身と同じ意見の人を低く見積もる傾向にあった。

政治コミュニケーションの文脈では、異なる他者との接触頻度がその他者への理解を高めることで、異なる他者の受容、すなわち寛容性の醸成に至るという（Mutz, 2006）。そこで、本調査では対立する意見への接触頻度と理解度を尋ねている。まず、前述の新型コロナウイルス感染症に対する意見文章それぞれの賛成派、反対派に対して、対立する意見にどの程度接触した経験があるかを「よく見る・聞く」から「まったく見ない・聞かない」の 5 件法にて問うた結果を賛成派、反対派ごとに図 4.1.2 に示す。それぞれの立場で対立する意見を「よく見る・聞く」「まあまあ見る・聞く」と答えた回答者は 3 割から 4 割程度みられた。一方で、「あまり見ない・聞かない」「まったく見ない・聞かない」という回答者は意見によっ



*** $p < .001$

図 4.1.2 対立意見への接触状況



*** $p < .001$

図 4.1.3 対立する意見の理解

ては5割程度見られた。例えば、「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである」という意見について、賛成派の50.4%は「反対派」の意見を「あまり見ない・聞かない」「まったく見ない・聞かない」状況であったと答えており、この割合は反対派よりも高かった ($\chi^2=218.288$, $p < .001$)。

さらに、対立する意見の理解度を問うた結果を図4.1.3に示す。結果として、「気持ちがわかる」「どちらかといえば気持ちがわかる」と対立する意見に理解を示した回答者は賛成派、

表 4.2.1 対立する意見を持つ人への印象

	賛成 (n=5046)	反対 (n=1906)	<i>t</i>	<i>p</i>
日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。	42.8	41.2	-2.693	**
	[42.2; 43.4]	[40.2; 42.2]		
日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。	34.9	39.6	7.886	***
	[34.2; 35.6]	[38.6; 40.6]		
私は、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい。	37.1	42.1	7.838	***
	[36.5; 37.7]	[41.0; 43.2]		
私は、新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。	38.1	43.3	8.254	***
	[37.5; 38.8]	[42.2; 44.4]		

** $p < .01$, *** $p < .001$

反対派双方に 1 割から 3 割弱程度みられた。「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には感染対策を最優先すべきである。」以外の文章に関していえば、とりわけ賛成派における対立する意見への「どちらかという気持ちかわからない」「気持ちがわからない」といった回答がより多数派を占めていた。

4.2 対立する意見のうけとめ

前節までの分析では、二項対立的な意見形成の様相とそれぞれの立場が互いにどの程度相手の情報に接触し、理解しているかを明らかにした。では、新型コロナウイルス感染症について意見の異なる市民は互いのことをどのように受け止めているか。本節では、印象と寛容性に着目して分析を行う。

まず、印象である。前述の各意見について、対立する意見を持つ人に対してどのような印象を持つかを「1（好ましくない）から 100（好ましい）」のうちもっとも近い数字で答えるよう求めた。平均値を表 4.2.1 に示す。結果として、各意見について賛成派も反対派も印象評価の点数が 50 を切っていることから、対立する立場をやや否定的に評価していることがわかる。また、*t* 検定の結果として、「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。」においては反対派の賛成派に対する印象評価がやや低く、それ以外の意見では賛成派の反対派に対する印象評価のほうが低いことがわかった。

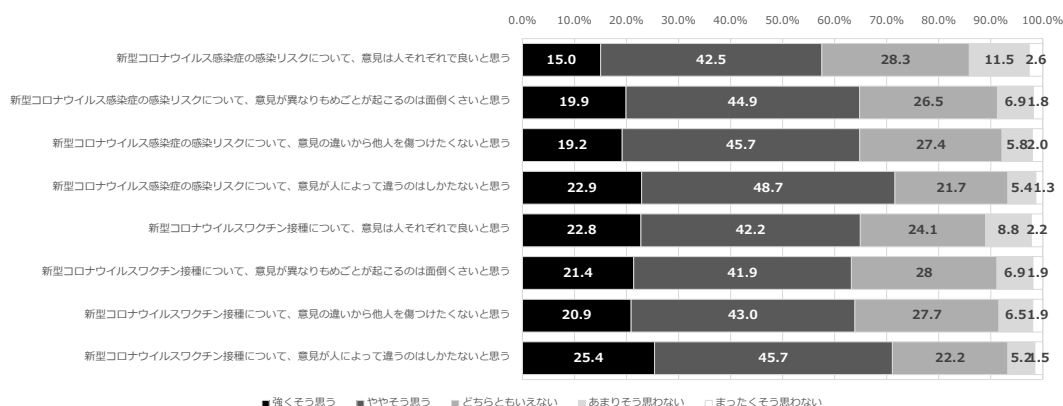


図 4.2.1 新型コロナウイルス感染症に関する寛容性

続いて、新型コロナウイルスの感染リスクとワクチン接種という2つの議題を焦点化した寛容性を測定する項目各4項目を作成し、それぞれ「強く思う」から「まったくそう思わない」までの5件法にて回答を求めた。この寛容性項目は、新型コロナウイルス感染症における文脈で対立を増長させないことに規範的価値を置くものであり、「新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて、意見は人それぞれで良いと思う」「新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて、意見が異なりもめごとが起こるのは面倒くさいと思う」といった項目を含むなど、既存の政治的寛容性研究で用いられてきた尺度（例えば、Gibson, 2013）とは性質が異なる点に留意されたい。結果を図4.2.1に示す。結果として、すべての項目において「強く思う」「やや思う」といった肯定的回答が5割を上回り、全体としては意見対立を比較的受容する傾向にあった。

本得点について、新型コロナウイルス感染症のリスク、およびワクチン接種の各トピックに紐づく4項目を、「まったくそう思わない」を1点、「強く思う」を5点となるようリコードしたうえで加算、平均したものを寛容性得点とみなし、4つの意見文への賛成/反対によって比較したものが表4.2.2である。結果として、「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。」および「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。」については反対派のほうが寛容性が高かった。その他の文章については有意な差異はみられなかった。

表 4.2.2 新型コロナウイルス感染症に関する寛容性得点の比較

	賛成 (n=5046)	反対 (n=1906)	<i>t</i>	<i>p</i>
日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。※ ¹	3.71 [3.69; 3.73]	3.77 [3.74; 3.81]	3.170	***
日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。※ ²	3.73 [3.71; 3.75]	3.88 [3.85; 3.92]	7.253	***
私は、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい。※ ¹	3.72 [3.70; 3.74]	3.75 [3.71; 3.79]	1.136	n. s.
私は、新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。※ ²	3.77 [3.75; 3.79]	3.81 [3.77; 3.85]	1.720	n. s.

*** $p < .001$

※¹ 感染リスクについての寛容性得点の平均値を算出。

※² ワクチン接種についての寛容性得点の平均値を算出。

4.3 対立意見への接触、理解、寛容性と印象

最後に、Mutz (2006) において異なる立場を受け入れるうえで重要視された異なる他者との接触頻度、その他者への理解および寛容性という3つの変数のコミュニケーション上の役割に着目した。具体的には、対立する意見への接触頻度、対立する意見の理解度、および寛容性が印象評価にどのように関連するか、偏相関係数（制御変数：性別）を算出することで検討した。結果として、対立する意見接触については印象評価と弱い正の相関が、対立する意見の理解については印象評価と中程度の正の相関が、いずれの意見文においても一貫してみられた。寛容性については、「私は、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい」についての賛成派、反対派への印象について弱い負の相関が ($r = -0.001$)、「私は、新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。」について弱い正の相関がみられたが ($r = 0.056$)、偏相関係数の値は非常に小さかった。したがって、主には対立する意見に接触したり、対立する意見を理解したりすることが、異なる立場の印象低下を抑制する可能性がある。

表 4.3.1 印象と対立する意見への接触および理解の偏相関係数

	政府感染対策※1		政府ワクチン接種※2		個人感染対策※3		個人ワクチン接種※4	
対立意見接触	0.169	***	0.151	***	0.244	***	0.177	***
対立意見理解	0.354	***	0.431	***	0.460	***	0.515	***
寛容性※5	0.013	n. s.	-0.009	n. s.	-0.001	***	0.056	***

*** $p < .001$; 制御変数：性別

※1 「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。」に関する「対立する意見接触」、「対立する意見の理解」と印象評価との偏相関係数。

※2 「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。」に関する「対立する意見接触」、「対立する意見の理解」と印象評価との偏相関係数。

※3 「私は、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい。」に関する「対立する意見接触」、「対立する意見の理解」と印象評価との偏相関係数。

※4 「私は、新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。」に関する「対立する意見接触」、「対立する意見の理解」と印象評価との偏相関係数。

※5 寛容性については、「政府感染対策」と「個人感染対策」では感染リスクについての寛容性得点を、「政府ワクチン接種」と「個人ワクチン接種」ではワクチン接種についての寛容性得点を利用した。

5. おわりに

以上、本稿では新型コロナウイルス感染症をめぐるコミュニケーションの様相について記述を行った。

まず、多様な意見形成の前提となる社会環境については、メディアからの情報取得と職場や学校のルール、感染防止行動の実施程度について記述した。多くの人が新型コロナウイルスに関しては全国、地域の感染者数といったリスク情報をテレビ、ポータルサイトといったメディアから得ていた可能性を明らかにした。職場や学校においては新型コロナウイルス感染症を抑制するためのルールが存在していたようであったが、2022年11月では厳格に行動を制限するほどのものではなかったようである。一方で、多くの人は感染防止行動の実施を自主的に継続しており、それは主には家族などの他者に迷惑をかけたくないという利他性の動機に由来する行動であった。以上より、調査実施時にはどちらかといえば社会的に感染リスクを回避すべきとの見方が高い頻度で報じられ、市民側の対策も実直に実施されていたことが窺える。

次に、新型コロナウイルス感染症をめぐる意見形成の実態と、対立する意見についてどの程度受容できるかについて、印象と寛容性の観点から検討した。結果として、感染リスクを回避し、ワクチン接種を推奨することを優先すべきとの考え方が回答者の中では多数派であ

り、回答者自身の多数派、少数派がどちらであるかという認知は実態と類似していた。また、互いに対立する立場をとる人々について、意見の接触程度や理解度を尋ねたところ、質問によっては対立する立場の意見を聞く機会が比較的少ないケースが存在した。特に多数派である、感染リスクの回避やワクチン接種を推奨する立場の人は対立意見への接触頻度が少なかった。

こうした対立する立場の意見を持つ人々について、理解を示したのは回答者のうち多くとも3割程度であり、特に感染リスクやワクチン接種を優先的に考える回答者は対立意見についてやや好ましからざる印象を持っていた。寛容性については、感染リスクの優先やワクチン接種について反対の立場の回答者のほうが寛容性が高い傾向にあった。印象評価との関連については、対立する意見への接触頻度と理解度が、あらゆる意見について一貫してポジティブな関連性を持っていた。とりわけ対立する意見への接触頻度については偏相関係数の値が比較的高く、まずは異なる意見に接触することが社会的分断を回避するために有効であると示唆された。

参考文献

Gibson, J. L. (2013). Measuring political tolerance and general support for pro-civil liberties policies: Notes, Evidence, and Cautions. *Public Opinion Quarterly*, 77(S1), 45-68. <https://doi.org/10.1093/poq/nfs073>

橋元良明・大野志郎・天野美穂子・堀川裕介・篠田詩織 (2020). 緊急事態宣言で人々の行動意識は変わったか?. 丸善出版

一般社団法人日本経済団体連合会 (2021). 感染症対策と両立する社会経済活動の継続に向けてー 新型コロナウイルス感染症対策に関する新内閣への提言ー. https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/101_honbun.html.

石橋真帆 (2024a). パンデミックの認識過程ー横断的メディア利用による社会的現実構成ー. 東京大学大学院学際情報学府博士学位論文.

石橋真帆・関谷直也 (2024b). COVID-19 パンデミック下における情報行動と感染リスク認知の関係性. 地域安全学会論文集, 45, 117-127. <https://doi.org/10.11314/jisss.45.117>

木下富雄 (2016). リスクコミュニケーションの思想と技術. ナカニシヤ出版.

国立感染症研究所（2022）. 感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第 23 報）.

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/11680-sars-cov-2-23.html>.

厚生労働省（2023）. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に係る 新型インフルエンザ等感染症から 5 類感染症への移行について , Retrieved from

<https://www.mhlw.go.jp/content/001091810.pdf>

奈良由美子・平川秀幸（2023）. リスクコミュニケーションとは. In 奈良由美子（Ed.）, リスクコミュニケーションの探求（pp.11-27）. 一般財団法人放送大学教育振興会.

Pew Research Center（n.d.）. American News Pathways 2020 Project Retrieved November 6, 2023, from <https://www.pewresearch.org/pathways-2020/>

謝辞

本研究は、第 56 次公益財団法人吉田秀雄記念事業財団研究助成を受けて実施された。

単純集計表

性別・年齢・居住都道府県 省略

Q1.あなたのここ最近気にしている話題は何ですか。キーワードをいくつでも挙げてください。(思い当たらない場合は「なし」と入力し、次にお進みください。)

自由回答・省略

Q2.あなたのここ最近気にしているニュースは何ですか。キーワードをいくつでも挙げてください。(思い当たらない場合は「なし」と入力し、次にお進みください。)

自由回答・省略

Q3.あなたがここ最近ネットでよく検索する情報は何ですか。キーワードをいくつでも挙げてください。(思い当たらない場合は「なし」と入力し、次にお進みください。)

自由回答・省略

Q4.あなたがここ最近で覚えている広告(テレビ広告、インターネット広告、デジタルサイネージ広告など)の商品名、もしくは商品のジャンル(車、衣服、化粧品など)をいくつでも挙げてください。(思い当たらない場合は「なし」と入力し、次にお進みください。)

自由回答・省略

Q5.あなたはここ1か月、以下のメディア等からどのくらい情報を得ましたか。平均的な頻度をお答えください。

	1 日 10 回 以 上	1 日 に 7~9 回 程 度	1 日 に 4~6 回 程 度	1 日 に 2~3 回 程 度	1 日 1 回 程 度	週 に 数 回 程 度	週 に 数 回 未 満	ま っ た く 得 な か っ た
1. テレビ（ニュース）	3.7%	1.3%	7.1%	26.0%	26.3%	13.2%	11.0%	11.4%
2. テレビ（ワイドショー、情報番組）	1.5%	0.6%	2.6%	11.3%	21.3%	17.6%	18.0%	27.0%
3. テレビ（その他の番組）	2.4%	1.1%	5.0%	15.9%	20.8%	16.9%	15.7%	22.2%
4. ラジオ	0.8%	0.4%	1.3%	3.3%	6.9%	7.7%	9.9%	69.8%
5. 新聞記事（紙）	0.8%	0.6%	1.5%	5.2%	17.1%	5.9%	7.8%	61.2%
6. 新聞記事（特定の新聞社のWeb・アプリ版）	0.8%	0.5%	1.6%	4.7%	10.4%	6.8%	9.2%	66.0%
7. ポータルサイト（Yahoo! ニュース、Google ニュース等）	4.6%	2.2%	8.7%	22.1%	22.4%	11.9%	11.5%	16.8%
8. ソーシャルメディアによるニュース提供（LINE NEWS 等）	2.5%	1.3%	4.4%	13.7%	17.8%	10.3%	12.2%	37.9%
9. ブログ（note、Ameba ブログなど）	0.6%	0.4%	1.1%	3.1%	5.9%	6.7%	9.5%	72.8%
10. 居住する都道府県や市区町村のホームページ	0.2%	0.4%	0.4%	1.0%	3.0%	5.4%	19.4%	70.2%
11. ツイッター(Twitter)上の、友人の投稿（リツイート含む）	3.7%	1.7%	4.3%	7.3%	7.9%	6.4%	8.1%	60.7%
12. ツイッター(Twitter)上の、政府、都道府県、公的団体などの公式アカウントの投稿	1.0%	0.4%	1.3%	3.1%	4.9%	5.3%	8.8%	75.3%
13. ツイッター(Twitter)上の、その他の投稿	3.5%	1.2%	3.6%	7.0%	7.2%	6.0%	8.3%	63.2%
14. インスタグラム(Instagram)	4.1%	1.8%	5.2%	9.3%	9.3%	5.7%	9.0%	55.6%
15. YouTube	5.3%	2.1%	6.0%	13.6%	16.2%	12.7%	14.6%	29.5%
16. 上記以外のソーシャルメディア	1.1%	0.5%	1.3%	3.4%	5.9%	5.6%	9.9%	72.3%
17. 雑誌	0.2%	0.3%	0.5%	1.3%	2.6%	6.0%	14.6%	74.5%
18. 所属する会社や学校からの連絡	1.1%	0.6%	1.6%	4.0%	7.5%	9.7%	13.8%	61.7%
19. 家族や友人・知人との会話（LINE 等チャット・メール含む）	4.5%	1.5%	5.1%	11.8%	13.1%	15.1%	19.5%	29.5%

■ここからは新型コロナウイルス感染症に関する話題についてお尋ねします。

Q6.あなたはここ 1 か月、新型コロナウイルス感染症に関するさまざまな情報について、前問にて利用したメディア等からどのくらい情報を得ましたか。

	かなり得た	やや得た	どちらともいえない	あまり得なかった	まったく得なかった	利用していない
1. テレビ（ニュース）	13.8%	40.8%	12.7%	15.4%	5.9%	11.4%
2. テレビ（ワイドショー、情報番組）	6.6%	26.9%	14.4%	16.2%	8.8%	27.0%
3. テレビ（その他の番組）	3.6%	18.0%	19.0%	18.9%	18.3%	22.2%
4. ラジオ	1.3%	6.0%	5.5%	7.4%	10.1%	69.8%
5. 新聞記事（紙）	4.3%	16.4%	7.4%	7.1%	3.7%	61.2%
6. 新聞記事（特定の新聞社の Web・アプリ版）	1.7%	9.7%	6.7%	7.1%	8.7%	66.0%
7. ポータルサイト（Yahoo! ニュース、Google ニュース等）	7.0%	30.5%	15.1%	15.9%	14.7%	16.8%
8. ソーシャルメディアによるニュース提供（LINE NEWS 等）	3.7%	16.9%	12.2%	13.0%	16.3%	37.9%
9. ブログ（note、Ameba ブログなど）	1.0%	3.0%	5.0%	5.9%	12.3%	72.8%
10. 居住する都道府県や市区町村のホームページ	2.7%	9.8%	5.8%	7.0%	4.5%	70.2%
11. ツイッター(Twitter)上の、友人の投稿（リツイート含む）	2.0%	6.8%	7.3%	8.6%	14.6%	60.7%
12. ツイッター(Twitter)上の、政府、都道府県、公的団体などの公式アカウントの投稿	2.0%	6.3%	5.0%	5.6%	5.8%	75.3%
13. ツイッター(Twitter)上の、その他の投稿	2.2%	7.1%	6.8%	8.2%	12.6%	63.2%
14. インスタグラム(Instagram)	1.7%	4.7%	6.7%	7.6%	23.7%	55.6%
15. YouTube	3.0%	8.0%	10.6%	11.5%	37.4%	29.5%
16. 上記以外のソーシャルメディア	0.9%	3.6%	6.4%	5.9%	10.9%	72.3%
17. 雑誌	0.7%	2.7%	4.8%	4.9%	12.5%	74.5%
18. 所属する会社や学校からの連絡	2.6%	11.2%	7.9%	7.9%	8.7%	61.7%
19. 家族や友人・知人との会話（LINE 等チャット・メール含む）	3.3%	18.5%	14.8%	15.3%	18.6%	29.5%

Q7.あなたはここ1か月、新型コロナウイルス感染症のリスクを伝えるような情報（感染者数や、症状、医療の逼迫状況など）について、前問にて利用したメディア等からどのくらい情報を得ましたか。

	かなり得た	やや得た	どちらともいえない	あまり得なかった	まったく得なかった	利用していない
1. テレビ（ニュース）	10.6%	34.4%	4.4%	4.2%	1.0%	45.5%
2. テレビ（ワイドショー、情報番組）	5.5%	20.7%	4.2%	2.6%	0.5%	66.5%
3. テレビ（その他の番組）	2.7%	11.5%	3.9%	2.8%	0.8%	78.3%
4. ラジオ	1.0%	4.3%	1.2%	0.6%	0.2%	92.7%
5. 新聞記事（紙）	3.3%	13.2%	2.4%	1.5%	0.2%	79.3%
6. 新聞記事（特定の新聞社の Web・アプリ版）	1.3%	6.0%	2.1%	1.4%	0.6%	88.6%
7. ポータルサイト（Yahoo! ニュース、Google ニュース等）	5.1%	21.5%	5.4%	4.3%	1.2%	62.5%
8. ソーシャルメディアによるニュース提供（LINE NEWS 等）	2.4%	10.7%	3.9%	2.6%	1.0%	79.4%
9. ブログ（note、Ameba ブログなど）	0.7%	1.8%	0.9%	0.6%	0.2%	95.9%
10. 居住する都道府県や市区町村のホームページ	1.6%	6.9%	2.1%	1.4%	0.5%	87.5%
11. ツイッター(Twitter)上の、友人の投稿（リツイート含む）	1.2%	4.0%	1.7%	1.2%	0.7%	91.2%
12. ツイッター(Twitter)上の、政府、都道府県、公的団体などの公式アカウントの投稿	1.2%	4.2%	1.5%	1.0%	0.4%	91.7%
13. ツイッター(Twitter)上の、その他の投稿	1.4%	4.1%	1.8%	1.4%	0.6%	90.7%
14. インスタグラム(Instagram)	1.1%	2.6%	1.4%	0.9%	0.4%	93.6%
15. YouTube	2.1%	4.5%	2.5%	1.3%	0.7%	89.0%
16. 上記以外のソーシャルメディア	0.7%	1.8%	1.2%	0.6%	0.2%	95.5%
17. 雑誌	0.6%	1.5%	0.8%	0.4%	0.1%	96.6%
18. 所属する会社や学校からの連絡	2.0%	7.3%	2.3%	1.6%	0.6%	86.2%
19. 家族や友人・知人との会話（LINE 等チャット・メール含む）	2.8%	12.7%	3.8%	1.8%	0.8%	78.2%

Q8.あなたはここ1か月、新型コロナウイルス感染症について、以下の情報を見聞きましたか。※項目27「その他」の回答は任意です。誤って回答してしまった方は、自由記述欄に「特になし」と記載の上、「2.見なかった・聞かなかった」をお答えください。(n=6,578)

	見た・聞いた	見なかった・聞かなかった
1. 日本の感染者数	84.2%	15.8%
2. 日本の重症者数・死者数	72.7%	27.3%
3. 居住地域の感染者数	69.7%	30.3%
4. 居住地域の重症者数・死者数	66.3%	33.7%
5. 新型コロナウイルス感染症の症状	56.7%	43.3%
6. 新型コロナウイルス感染症の後遺症	54.5%	45.5%
7. 新型コロナウイルス感染症の予防方法	54.3%	45.7%
8. 検査の受け方	49.5%	50.5%
9. 発症後の対応	46.2%	53.8%
10. 感染した人の体験談	43.6%	56.4%
11. 医療のひっ迫状況	43.2%	56.8%
12. 新型コロナウイルス感染症に関する政府・専門家会議の方針・見解	43.2%	56.8%
13. 日本の入国制限	43.1%	56.9%
14. 海外の入国制限	42.7%	57.3%
15. 政府による個人・事業主への経済支援策	41.9%	58.1%
16. 政府による重点的な感染対策の内容・期間	40.4%	59.6%
17. レストランや百貨店など、店舗の営業について	38.4%	61.6%
18. イベント（スポーツ、音楽等）の延期・中止	37.3%	62.7%
19. 新型コロナウイルス感染症が日本の経済にもたらす影響	37.2%	62.8%
20. 新型コロナウイルス感染症が世界の経済にもたらす影響	35.9%	64.1%
21. 公共交通機関の混雑時間帯	34.9%	65.1%
22. 人出の増減に関する情報	33.9%	66.1%
23. 学校教育への影響	31.6%	68.4%
24. 新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報	28.9%	71.1%
25. 治療薬の開発に関する情報	28.9%	71.1%
26. 基本的な健康管理に関する情報	22.8%	77.2%
27. その他	6.1%	93.9%

Q9.前問で「見た・聞いた」とお答えいただいたものの中で、ご自身が最も重要だと思ったものを1つあげてください。(n=6,270)

日本の感染者数	16.8%
居住地域の感染者数	15.7%
新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報	6.8%
日本の重症者数・死者数	5.8%
新型コロナウイルス感染症の予防方法	5.3%
医療の逼迫状況	4.3%
発症後の対応	3.5%
新型コロナウイルス感染症の症状	3.5%
新型コロナウイルス感染症に関する政府・専門家会議の方針・見解	3.3%
治療薬の開発に関する情報	3.1%
新型コロナウイルス感染症の後遺症	2.6%
新型コロナウイルス感染症が日本の経済にもたらす影響	2.6%
居住地域の重症者数・死者数	2.4%
基本的な健康管理に関する情報	2.3%
日本の入国制限	1.8%
感染した人の体験談	1.5%
政府による個人・事業主への経済支援策	1.5%
海外の入国制限	1.2%
学校教育への影響	1.0%
人出の増減に関する情報	1.0%
検査の受け方	0.9%
イベント（スポーツ、音楽等）の延期・中止	0.8%
レストランや百貨店など、店舗の営業について	0.7%
新型コロナウイルス感染症が世界の経済にもたらす影響	0.7%
政府による重点的な感染対策の内容・期間	0.6%
公共交通機関の混雑時間帯	0.3%
その他	0.3%
見ていない（欠損値）	9.8%

Q10.あなたは新型コロナウイルス感染症について情報を得るとき、以下の情報源についてどのくらい信頼していますか。

	とても信頼している	やや信頼している	どちらともいえない	あまり信頼していない	まったく信頼していない
1. 政府機関（内閣官房や、厚生労働省など）	8.1%	34.2%	31.6%	18.0%	8.2%
2. 地方自治体（都道府県や市区町村）	9.6%	41.5%	32.5%	11.9%	4.6%
3. WHO（世界保健機関）	7.4%	26.5%	40.5%	16.1%	9.5%
4. マス・メディア（テレビ局、新聞社）	2.7%	25.2%	40.5%	20.7%	10.8%
5. ジャーナリスト・ライター	1.4%	15.4%	48.8%	23.6%	10.8%
6. 専門家（専門家分科会、研究者など）・医師	8.8%	43.0%	34.2%	9.1%	4.9%
7. 自身のかかりつけ医	10.3%	39.0%	43.1%	5.0%	2.6%
8. 家族や友人・知人	8.5%	32.5%	48.5%	7.8%	2.7%
9. 芸能人・インフルエンサー	1.0%	7.5%	41.9%	29.7%	19.9%
10. 直接知らない人の体験談	1.1%	11.8%	45.6%	23.4%	18.2%

Q11.あなたのメディア利用時間は、新型コロナ禍においてどのように変化しましたか。以下の各時点におけるメディアの利用時間について、新型コロナ禍以前（2019年以前）を基準としてお答えください。

	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
1. 2020年（国内で感染拡大が始まる）	26.5%	27.2%	42.4%	2.5%	1.5%
2. 2021年	25.1%	26.4%	43.4%	3.4%	1.8%
3. 2022年（現在まで）	19.0%	22.4%	46.9%	8.2%	3.4%

Q12.以下の文章について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。《日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。》

そう思う	24.5%
どちらかといえばそう思う	48.1%
どちらかといえばそう思わない	19.3%
そう思わない	8.1%

Q12-1.日本ではどのくらいの人々が、前問のあなたの答えと同じ意見を持っていますか。0～100%の数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）（Q12で肯定的回答をした人のみ n=5,046）

平均値	52.2
標準偏差	18.7

Q12-2.どのくらい「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきではない。」という意見を見聞きしていますか。（Q12で肯定的回答をした人のみ n=5,046）

よく見る・聞く	4.2%
まあまあ見る・聞く	30.0%
どちらともいえない	29.9%
あまり見ない・聞かない	29.3%
まったく見ない・聞かない	6.6%

Q12-3.「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきではない。」と思う人に対してどう思いますか。（Q12で肯定的回答をした人のみ n=5,046）

気持ちがわかる	4.7%
どちらかという気持ちわかる	24.1%
どちらともいえない	38.7%
どちらかという気持ちがわからない	23.3%
気持ちがわからない	9.2%

Q12-4.「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきではない。」と思う人に対してどのような印象を持ちますか。1（好ましくない）から100（好ましい）のうちもっとも近い数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）（Q12で否定的回答をした人のみ n=1,906）

平均値	42.8
標準偏差	22.6

Q12-5.どのくらい「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。」という意見を見聞きしていますか。(Q12 で否定的回答をした人のみ n=1,906)

よく見る・聞く	3.7%
まあまあ見る・聞く	24.5%
どちらともいえない	34.1%
あまり見ない・聞かない	28.5%
まったく見ない・聞かない	9.2%

Q12-6.「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。」と思う人に対してどう思いますか。(Q12 で否定的回答をした人のみ n=1,906)

気持ちができる	4.0%
どちらかという気持ちができる	22.1%
どちらともいえない	40.7%
どちらかという気持ちができない	21.0%
気持ちができない	12.2%

Q12-7.「日本政府の方針として、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先すべきである。」と思う人に対してどのような印象を持ちますか。1（好ましくない）から 100（好ましい）のうちもっとも近い数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）(Q12 で否定的回答をした人のみ n=1,906)

平均値	41.2
標準偏差	22.0

Q13.以下の文章について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。《日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。》

そう思う	23.3%
どちらかといえばそう思う	45.7%
どちらかといえばそう思わない	21.2%
そう思わない	9.8%

Q13-1.日本ではどのくらいの人、前問のあなたの答えと同じ意見を持っていますか。0～100%の数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）(Q13 で肯定的回答をした人のみ n=4,795)

平均値	55.4
標準偏差	19.6

Q13-2.どのくらい「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきでない。」という意見を見聞きしていますか。(Q13 で肯定的回答をした人のみ n=4,795)

よく見る・聞く	3.5%
まあまあ見る・聞く	22.2%
どちらともいえない	23.9%
あまり見ない・聞かない	38.4%
まったく見ない・聞かない	12.0%

Q13-3.「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきでない。」と思う人に対してどう思いますか。(Q13 で肯定的回答をした人のみ n=4,795)

気持ちがわかる	2.6%
どちらかという気持ちがわかる	12.1%
どちらともいえない	35.5%
どちらかという気持ちがわからない	31.4%
気持ちがわからない	18.4%

Q13-4.「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきでない。」と思う人に対してどのような印象を持ちますか。1（好ましくない）から 100（好ましい）のうちもっとも近い数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）(Q13 で肯定的回答をした人のみ n=4,795)

平均値	34.9
標準偏差	24.2

Q13-5.どのくらい「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。」という意見を見聞きしていますか。(Q13 で否定的回答をした人のみ n=2,157)

よく見る・聞く	7.9%
まあまあ見る・聞く	26.8%
どちらともいえない	32.1%
あまり見ない・聞かない	23.1%
まったく見ない・聞かない	10.1%

Q13-6.「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。」と思う人に対してどう思いますか。(Q13 で否定的回答をした人のみ n=2,157)

気持ちがわかる	2.2%
どちらかという気持ちがわかる	16.4%
どちらともいえない	44.1%
どちらかという気持ちがわからない	21.8%
気持ちがわからない	15.4%

Q13-7.「日本政府は、多くの人に対して新型コロナウイルスワクチン接種を呼びかけるべきである。」と思う人に対してどのような印象を持ちますか。1（好ましくない）から 100（好ましい）のうちもっとも近い数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）(Q13 で否定的回答をした人のみ n=2,157)

平均値	39.6
標準偏差	22.6

Q14.以下の文章について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。《私は、新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい。》

そう思う	27.6%
どちらかといえばそう思う	48.4%
どちらかといえばそう思わない	17.8%
そう思わない	6.2%

Q14-1.日本ではどのくらいの方が、前問のあなたの答えと同じ意見を持っていますか。0～100%の数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）(Q14 で肯定的回答をした人のみ n=5,284)

平均値	56.6
標準偏差	20.3

Q14-2.どのくらい「新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したくはない。」という意見を見聞きしていますか。(Q14 で肯定的回答をした人のみ n=5,284)

よく見る・聞く	2.6%
まあまあ見る・聞く	20.6%
どちらともいえない	29.2%
あまり見ない・聞かない	37.8%
まったく見ない・聞かない	9.8%

Q14-3.「新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したくはない。」と思う人に対してどう思いますか。(Q14 で肯定的回答をした人のみ n=5,284)

気持ちがわかる	3.1%
どちらかという気持ちがわかる	17.2%
どちらともいえない	35.3%
どちらかという気持ちがわからない	30.0%
気持ちがわからない	14.3%

Q14-4.「新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したくはない。」と思う人に対してどのような印象を持ちますか。1（好ましくない）から 100（好ましい）のうちもっとも近い数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）(Q14 で肯定的回答をした人のみ n=5,284)

平均値	37.1
標準偏差	23.4

Q14-5.どのくらい「新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい。」という意見を見聞きしていますか。(Q14 で否定的回答をした人のみ n=1,668)

よく見る・聞く	2.6%
まあまあ見る・聞く	22.2%
どちらともいえない	37.1%
あまり見ない・聞かない	27.0%
まったく見ない・聞かない	11.0%

Q14-6.「新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい。」と思う人に対してどう思いますか。(Q14 で否定的回答をした人のみ n=1,668)

気持ちがわかる	2.8%
どちらかという気持ちがわかる	21.0%
どちらともいえない	40.8%
どちらかという気持ちがわからない	22.1%
気持ちがわからない	13.3%

Q14-7.「新型コロナウイルス感染症がまんえんした際には、感染対策を最優先したい。」と思う人に対してどのような印象を持ちますか。1（好ましくない）から 100（好ましい）のうちもっとも近い数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）(Q14 で否定的回答をした人のみ n=1,668)

平均値	42.0
標準偏差	22.4

Q15.以下の文章について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。《私は、新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。》(Q15 で肯定的回答をした人のみ n=5,127)

そう思う	30.5%
どちらかといえばそう思う	43.2%
どちらかといえばそう思わない	17.4%
そう思わない	8.8%

Q15-1.日本ではどのくらいの方が、前問のあなたの答えと同じ意見を持っていますか。0～100%の数字でお答えください。(半角数字でご記入ください) (Q15 で肯定的回答をした人のみ n=5,127)

平均値	57.3
標準偏差	20.2

Q15-2.どのくらい「新型コロナウイルスワクチン接種を行わなくてもよいと思う。」という意見を見聞きしていますか。(Q15 で肯定的回答をした人のみ n=5,127)

よく見る・聞く	4.4%
まあまあ見る・聞く	34.2%
どちらともいえない	26.1%
あまり見ない・聞かない	29.9%
まったく見ない・聞かない	5.4%

Q15-3.「新型コロナウイルスワクチン接種を行わなくてもよいと思う。」と思う人に対してどう思いますか。(Q15 で肯定的回答をした人のみ n=5,127)

気持ちがわかる	4.3%
どちらかという気持ちわかる	19.0%
どちらともいえない	36.6%
どちらかという気持ちがわからない	27.2%
気持ちがわからない	13.0%

Q15-4.「新型コロナウイルスワクチン接種を行わなくてもよいと思う。」と思う人に対してどのような印象を持ちますか。1（好ましくない）から 100（好ましい）のうちもっとも近い数字でお答えください。(半角数字でご記入ください) (Q15 で肯定的回答をした人のみ n=5,127)

平均値	38.1
標準偏差	22.8

Q15-5.どのくらい「新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。」という意見を見聞きしていますか。(Q15 で否定的回答をした人のみ n=1,825)

よく見る・聞く	9.3%
まあまあ見る・聞く	31.8%
どちらともいえない	35.0%
あまり見ない・聞かない	15.4%
まったく見ない・聞かない	8.5%

Q15-6.「新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。」と思う人に対してどう思いますか。
(Q15 で否定的回答をした人のみ n=1,825)

気持ちがわかる	4.5%
どちらかという気持ちがわかる	19.7%
どちらともいえない	43.1%
どちらかという気持ちがわからない	17.2%
気持ちがわからない	15.5%

Q15-7.「新型コロナウイルスワクチン接種を行うほうがよいと思う。」と思う人に対してどのような印象を持ちますか。1（好ましくない）から 100（好ましい）のうちもっとも近い数字でお答えください。（半角数字でご記入ください）(Q15 で否定的回答をした人のみ n=1,825)

平均値	43.3
標準偏差	23.6

Q16.ここ最近の新型コロナウイルス感染症について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。

	強く そう 思う	やや そう 思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	まっ たく そう 思わ ない
1. 私は、感染するリスクを感じる	10.5%	39.4%	27.2%	18.3%	4.7%
2. 私は、感染し、重症化するリスクを感じる	5.5%	20.2%	32.3%	32.3%	9.7%
3. 私は、感染し、死亡するリスクを感じる	3.6%	11.7%	29.4%	37.2%	18.2%
4. 私は、感染し、他者に感染させてしまうリスクを感じる	11.6%	35.4%	30.5%	17.4%	5.2%
5. 私は、感染症がまんえんし、医療サービスを十分に受けられないリスクを感じる	10.4%	33.9%	32.2%	17.3%	6.3%
6. 私は、感染症がまんえんし、経済的な影響を受けることにリスクを感じる	15.2%	36.6%	28.4%	14.3%	5.5%
7. 感染症がまんえんし、社会全体でたくさんの感染者が出てしまうリスクを感じる	12.0%	41.2%	29.8%	12.5%	4.6%
8. 感染症がまんえんし、社会全体でたくさんの重症者が出てしまうリスクを感じる	7.6%	28.8%	36.1%	21.7%	5.8%
9. 感染症がまんえんし、社会全体でたくさんの死者が出てしまうリスクを感じる	5.5%	21.6%	35.9%	27.7%	9.4%
10. 社会全体で感染症がまんえんし、歯止めが利かなくなるリスクを感じる	6.6%	24.6%	34.2%	26.1%	8.5%
11. 感染症がまんえんし、社会全体で医療がひっ迫するリスクを感じる	14.0%	38.3%	29.3%	13.9%	4.6%

Q17.ここ最近の新型コロナウイルス感染症について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。

	強く そう 思う	やや そう 思う	どちら とも い え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ま っ た く そ う 思 わ ない
1. 私は、新型コロナウイルス感染症自体よりも感染対策による経済被害のほうが重大であると思う	11.5%	28.4%	43.6%	13.4%	3.0%
2. 私は、新型コロナウイルス感染症自体よりも感染対策による精神的健康の問題（コロナ疲れ、コロナうつ等）のほうが重大であると思う	9.6%	32.7%	41.7%	13.3%	2.7%
3. 私は、新型コロナウイルス感染症のリスクはインフルエンザと変わらないか、それ以下であると思う	7.7%	21.3%	35.3%	26.9%	8.8%
4. 私は、生きている上で新型コロナウイルス感染症程度のリスクは許容しなければならないと思う	10.7%	42.1%	34.3%	10.1%	2.8%
5. 私は、新型コロナウイルスに感染するかしないかは、偶然であると思う	9.0%	29.5%	35.5%	21.3%	4.8%
6. 私は、新型コロナウイルス感染症におびえるより、今の瞬間を楽しく生きるべきであると思う	10.6%	28.1%	39.8%	16.7%	4.8%
7. 私は、新型コロナウイルス感染症は自然現象であり、防げないと思う	9.7%	32.7%	33.5%	18.8%	5.3%
8. 私は、新型コロナウイルス感染症とは共存しなければならないと思う	18.4%	47.0%	26.0%	6.1%	2.4%
9. 私は、新型コロナウイルス感染症対策よりも、国民の自由が尊重されるべきであると思う	7.1%	20.2%	48.3%	19.6%	4.9%
10. 世間一般の人は、新型コロナウイルス感染症自体よりも経済被害のほうが重大であると思っている	8.7%	31.4%	45.5%	12.3%	2.0%
11. 世間一般の人は、新型コロナウイルス感染症自体よりも精神的健康の問題（コロナ疲れ、コロナうつ等）のほうが重大であると思っている	6.6%	27.9%	47.4%	15.6%	2.5%
12. 世間一般の人は、新型コロナウイルス感染症のリスクはインフルエンザと変わらないか、それ以下であると思っている	5.3%	24.2%	41.1%	24.2%	5.2%
13. 世間一般の人は、生きている上で新型コロナウイルス感染症程度のリスクは許容しなければならないと思っている	6.5%	40.0%	39.4%	12.1%	2.0%
14. 世間一般の人は、新型コロナウイルスに感染するかしないかは、偶然であると思っている	6.0%	29.2%	42.3%	19.2%	3.3%
15. 世間一般の人は、新型コロナウイルス感染症におびえるより、今の瞬間を楽しく生きるべきであると思っている	6.3%	27.7%	45.5%	16.6%	3.9%
16. 世間一般の人は、新型コロナウイルス感染症は自然現象であり、防げないと思っている	6.1%	33.0%	40.4%	17.1%	3.5%
17. 世間一般の人は、新型コロナウイルス感染症とは共存しなければならないと思っている	10.1%	44.6%	34.9%	8.4%	2.0%
18. 世間一般の人は、新型コロナウイルス感染症対策よりも、国民の自由が尊重されるべきであると思っている	6.4%	27.3%	49.1%	14.5%	2.7%

Q18.ここ最近の新型コロナウイルス感染症の対策について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。

	強く そう 思う	やや そう 思う	どちら とも いえ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
1. 私は3密（密閉・密集・密接）を避けなくてもよいと思う	3.0%	12.1%	24.4%	40.9%	19.7%
2. 私は会話の際にソーシャルディスタンスを保たなくてもよいと思う	3.8%	14.7%	24.9%	40.0%	16.7%
3. 私は屋内でマスクをつけなくてもよいと思う	5.9%	14.3%	26.3%	34.0%	19.6%
4. 私は会食のときにマスクをつけなくてもよいと思う	9.0%	24.0%	31.1%	24.6%	11.3%
5. 私は手洗いや手指消毒をしなくてもよいと思う	1.8%	5.3%	15.8%	32.3%	44.8%
6. 世間一般の人は、あなたが3密（密閉・密集・密接）を避けなくても、気にしないと思う	2.7%	12.4%	30.8%	38.7%	15.4%
7. 世間一般の人は、あなたが会話の際にソーシャルディスタンスを保たなくても、気にしないと思う	2.8%	12.7%	29.6%	40.3%	14.7%
8. 世間一般の人は、あなたが屋内でマスクをつけなくても、気にしないと思う	2.3%	8.6%	26.4%	40.1%	22.6%
9. 世間一般の人は、あなたが会食のときにマスクをつけなくても、気にしないと思う	3.4%	15.3%	32.0%	34.8%	14.6%
10. 世間一般の人は、あなたが手洗いや手指消毒をしなくても、気にしないと思う	2.4%	10.1%	27.5%	35.8%	24.2%

Q19.あなたの周りで、以下にあてはまる人がここ最近どのくらいいるかお答えください。

	ほ ぼ い な い (約 0 %)	約 25 %	約 50 %	約 75 %	ほ ぼ 全 員 (約 100 %)
1. 3密（密閉・密集・密接）空間を避けている人	7.2%	20.6%	42.2%	24.1%	5.9%
2. 会話の際にソーシャルディスタンスを保つ人	14.1%	23.8%	37.3%	19.2%	5.5%
3. 屋内でマスクをつけている人	1.8%	6.0%	16.0%	30.0%	46.3%
4. 会食のときにもできるだけマスクをつけている人	16.0%	22.4%	31.8%	20.2%	9.6%
5. 手洗いや手指消毒をする人	1.1%	5.9%	22.4%	37.9%	32.7%

Q20.あなたはここ最近、以下の行動をどのくらいとしていますか。

	いつもする	よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない
1. 3密（密閉・密集・密接）空間を避ける	21.5%	36.8%	26.3%	11.2%	4.2%
2. 会話の際にソーシャルディスタンスを保つ	18.3%	33.9%	26.8%	15.5%	5.5%
3. 屋内でのマスク着用	57.0%	24.4%	11.3%	5.0%	2.2%
4. 会食のときのマスク着用	22.0%	26.9%	24.0%	18.0%	9.0%
5. 手洗いや手指消毒	60.6%	23.5%	11.2%	3.3%	1.4%

Q21.新型コロナウイルスへの感染を防ぐ行動をとっている方にお尋ねします。あなたが感染対策を行う理由として以下はどのくらいあてはまりますか。(Q20 で感染防止行動を行ったと答えた人のみ n=6,908)

	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
1. 感染することが怖いから	39.5%	34.2%	15.6%	7.0%	3.0%
2. 感染対策は何よりも優先されるべきだから	20.9%	37.8%	26.7%	9.8%	4.2%
3. 感染は努力すれば防ぐことが出来るから	22.2%	41.7%	23.3%	8.8%	3.3%
4. 感染したら命にかかわるから	16.2%	30.3%	29.0%	17.3%	6.6%
5. 感染したら、対応が面倒くさいから	36.8%	39.3%	16.3%	5.3%	1.6%
6. 感染対策をすることが社会にとって良いことだから	23.3%	44.1%	23.3%	5.9%	2.7%
7. 感染して、他人に迷惑をかけたくないから	45.0%	34.8%	13.8%	3.7%	2.0%
8. 感染して、家族を巻き込みたくないから	52.5%	27.5%	13.7%	3.6%	2.1%
9. やりたいこと（旅行など）をするには、感染対策が必要とされているから	31.1%	41.2%	20.2%	4.9%	1.9%
10. 会社や所属する組織で、感染対策をしろ、と言われたから	16.3%	30.9%	33.2%	11.7%	7.3%
11. 感染対策をしないと、社会的な立場上よくないから	18.0%	35.1%	29.7%	10.9%	5.7%
12. 感染対策をしないことで、周りに何か言われるのが面倒くさいから	20.7%	37.8%	25.2%	10.7%	4.9%
13. 感染対策をしないと、周りから変な目で見られるから	20.4%	37.8%	25.8%	10.6%	4.9%
14. 感染対策をしないと、差別を受けそうだから	13.5%	28.9%	32.5%	16.6%	8.0%
15. 周りが感染対策をしているから、なんとなく	12.3%	31.6%	30.3%	16.0%	9.2%

Q22.以下について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。

	強く そう 思う	やや そう 思う	どちら とも い え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ま っ た く そ う 思 わ ない
1. 感染対策をすることに疲れた	13.9%	33.5%	24.1%	21.5%	7.0%
2. 感染対策をすることが面倒くさい	13.8%	33.1%	23.7%	22.2%	7.3%
3. 感染対策によって私の行動の自由が奪われている	13.0%	27.9%	27.5%	23.7%	8.0%
4. 感染対策によって、精神的に問題をきたす	7.9%	19.0%	29.3%	28.7%	15.1%
5. 感染対策にはお金がかかると思う	15.1%	40.2%	24.8%	14.8%	5.1%

Q23.以下について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。

	強く そう 思う	やや そう 思う	どちら とも い え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ま っ た く そ う 思 わ ない
1. 新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて、意見は人それぞれで良いと思う	15.0%	42.5%	28.3%	11.5%	2.6%
2. 新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて、意見が異なりもめごとが起こるのは面倒くさいと思う	19.9%	44.9%	26.5%	6.9%	1.8%
3. 新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて、意見の違いから他人を傷つけたくないと思う	19.2%	45.7%	27.4%	5.8%	2.0%
4. 新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて、意見が人によって違うのはしかたないと思う	22.9%	48.7%	21.7%	5.4%	1.3%
5. 新型コロナウイルスワクチン接種について、意見は人それぞれで良いと思う	22.8%	42.2%	24.1%	8.8%	2.2%
6. 新型コロナウイルスワクチン接種について、意見が異なりもめごとが起こるのは面倒くさいと思う	21.4%	41.9%	28.0%	6.9%	1.9%
7. 新型コロナウイルスワクチン接種について、意見の違いから他人を傷つけたくないと思う	20.9%	43.0%	27.7%	6.5%	1.9%
8. 新型コロナウイルスワクチン接種について、意見が人によって違うのはしかたないと思う	25.4%	45.7%	22.2%	5.2%	1.5%

Q24.以下に示すものは、新型コロナウイルス感染症に関するいくつかの政策的立場です。それぞれの政策について、あなたがどのくらい支持するかお答えください。

	強く支持する	支持する	反対する	強く反対する
1. 新型コロナウイルス感染症を抑えるため、一般市民の行動制限を行うこと	5.1%	54.8%	32.2%	7.9%
2. 新型コロナウイルス感染症を抑えるため、トレーシングアプリで行動履歴を把握されること	3.7%	33.2%	47.8%	15.4%
3. 新型コロナウイルス感染症を抑えるため、飲食店などの営業時間を強制的に短縮すること	4.0%	37.4%	45.5%	13.1%
4. 新型コロナウイルス感染症を抑えるため、マスクの着用を強制すること	12.5%	54.4%	25.4%	7.7%
5. 新型コロナウイルス感染症を抑えるため、ワクチン接種を強制すること	7.3%	42.4%	36.3%	14.0%
6. 新型コロナウイルス感染症を抑えるため、検査を強制すること	6.5%	48.5%	35.2%	9.9%

Q25.新型コロナウイルス感染症に関する以下の話題について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。

	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
1. 友人や職場の同僚と感染リスクについて話をすると、その相手と自分の意見が異なる場合、話しにくいと感じますか	6.6%	35.5%	36.9%	16.9%	4.1%
2. 友人や職場の同僚と重症化リスクについて話をすると、その相手と自分の意見が異なる場合、話しにくいと感じますか	7.0%	35.1%	36.3%	17.5%	4.1%
3. 友人や職場の同僚と感染を防ぐための行動について話をすると、その相手と自分の意見が異なる場合、話しにくいと感じますか	7.3%	35.0%	35.9%	17.6%	4.2%
4. 友人や職場の同僚と新型コロナウイルス感染症による社会全体への影響（経済や教育など）について話をすると、その相手と自分の意見が異なる場合、話しにくいと感じますか	6.9%	32.5%	37.7%	18.6%	4.3%
5. 友人や職場の同僚とワクチン接種について話をすると、その相手と自分の意見が異なる場合、話しにくいと感じますか	8.2%	32.4%	36.2%	19.0%	4.3%

Q26.新型コロナウイルス感染症に関する以下の話題について、現在どのくらい知りたいと感じていますか。

	強く そう 思う	やや そう 思う	どちら とも いえ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
1. 新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて	18.6%	40.2%	30.5%	7.6%	3.2%
2. 新型コロナウイルス感染症の重症化リスクについて	19.7%	41.1%	29.4%	6.7%	3.2%
3. 新型コロナウイルス感染症を防ぐための行動について	20.5%	36.4%	33.0%	6.5%	3.6%
4. 新型コロナウイルス感染症がもたらす社会全体への影響（経済や教育など）について	18.7%	40.7%	31.7%	6.1%	2.9%
5. 新型コロナウイルスワクチン接種について	21.0%	38.3%	29.8%	6.6%	4.3%

■ここからはあなた自身のことについてお尋ねします。

Q27.以下について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。

	強く そう 思う	やや そう 思う	どちら とも いえ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
1. ものごとに対する意見は、人それぞれで良いと思う	31.2%	47.4%	17.1%	3.4%	0.9%
2. ものごとに対する意見が異なり、もめごとが起こるのは面倒くさいと思う	25.4%	44.8%	22.7%	5.8%	1.4%
3. ものごとに対する意見の違いから、他人を傷つけないと思う	25.9%	45.2%	22.6%	4.9%	1.4%
4. ものごとに対する意見が人によって違うのは、しかたないと思う	33.2%	45.8%	17.1%	3.1%	0.9%
5. 関心のあわない人と無理につきあう必要はないと思う	29.8%	41.0%	23.3%	4.9%	1.1%
6. 世の中にはいろんな意見の人がいて当然だと思う	42.1%	39.0%	15.6%	2.5%	0.8%

Q28.以下のそれぞれの項目はあなた自身にどれくらいあてはまりますか。非常にあてはまる～まったくあてはまらないの内で、自分に最もあてはまると思う数字を選んでください。

	非常にあてはまる	かなりあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	ほとんどあてはまらない	まったくあてはまらない
1. 不安になりやすい	8.8%	13.7%	27.8%	21.5%	16.3%	7.9%	4.1%
2. 心配性	10.5%	17.5%	30.7%	18.7%	13.5%	5.7%	3.4%
3. 弱気になる	7.7%	13.1%	25.9%	26.2%	16.1%	6.8%	4.3%
4. 緊張しやすい	13.2%	18.0%	28.4%	21.9%	11.3%	4.3%	2.9%
5. 憂鬱な	7.5%	10.9%	22.2%	26.5%	17.5%	9.2%	6.2%

Q29.以下について、あなたの意見にもっとも近いものをお答えください。

	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
1. 関心のないことを見る時間はもったいない	21.3%	42.2%	25.6%	9.4%	1.5%
2. 関心のないことはよく読みとばしたり、聞き流したりする	21.8%	50.4%	21.3%	5.5%	1.0%
3. 関心のないことは知らなくてよい	9.2%	25.9%	38.1%	23.1%	3.7%
4. 数は少なくとも決まった情報源があればいい	9.3%	36.5%	36.7%	14.7%	2.9%
5. 必要な情報を得るときは時間をかける	19.3%	48.5%	24.8%	6.3%	1.2%
6. 関心のあることだけ知っておけばいい	6.2%	20.2%	38.9%	29.6%	5.1%
7. 関心のないニュースを見るのは苦痛だ	9.5%	28.9%	34.5%	22.8%	4.4%
8. 無駄なニュースが多いと思う	15.3%	34.2%	35.6%	12.9%	2.0%
9. 関心のない広告を見る時間はもったいない	33.1%	35.8%	22.9%	7.0%	1.3%
10. 関心のない広告はよく読みとばしたり、聞き流したりする	37.2%	38.8%	18.7%	4.3%	1.0%
11. 関心のない広告は見聞きしなくてよい	31.1%	32.9%	27.2%	7.6%	1.2%
12. 特定の媒体から、広告など企業の情報が得られればよい	10.0%	28.0%	43.6%	15.2%	3.2%
13. 広告に時間をとられたくない	29.2%	37.3%	26.0%	6.3%	1.3%
14. 関心のある広告だけ見聞きできればよい	22.2%	37.6%	30.3%	8.4%	1.5%
15. 関心のない広告を見るのは苦痛だ	26.3%	31.0%	29.6%	11.5%	1.7%
16. 無駄な広告が多いと思う	32.4%	34.5%	26.9%	5.3%	0.9%

■ここからは、あなたやあなたの身の周りの方の状況についてお尋ねします。

Q30.あなたは新型コロナウイルスに感染したことがありますか。

ある	18.2%
ない	81.8%

Q31.あなたの周りで、新型コロナウイルスに感染した人はいますか。

いる	71.9%
いない	28.1%

Q32.現在、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

1. 基礎疾患を持つ	18.7%
2. 妊娠している	1.2%
3. 喫煙している	13.2%
4. あてはまるものはない	69.5%

Q33.現在、あなたは新型コロナウイルスワクチンを何回目まで接種していますか。

1 回目	0.5%
2 回目	13.3%
3 回目	40.8%
4 回目	32.6%
5 回目	2.3%
打っていない	10.5%

Q34.現在、一緒にお住まいの方の人数を、あなたを含めてお答えください。(1人暮らしの場合は、1人)
(半角数字でご記入ください)

平均 2.7 人

Q35.現在、一緒にお住まいの方にあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)(同居人がいる人のみ n=5,531)

1. 基礎疾患を持つ	19.1%
2. 妊娠している	0.8%
3. 喫煙している	13.7%
4. 高齢(65歳以上)である	29.9%
5. あてはまるものはない	50.8%

Q36.あなたの最終学歴、あるいは現在在学している学校をお答えください。

中学校	2.1%
高校	27.9%
短大・高専・専門学校	21.5%
大学	42.8%
大学院	5.0%
その他	0.7%

Q37.あなたの家の世帯年収（税込み）をお答えください。

～200 万円未満	13.9%
200 万円以上～400 万円未満	23.2%
400 万円以上～600 万円未満	22.9%
600 万円以上～800 万円未満	16.5%
800 万円以上～1,000 万円未満	11.5%
1,000 万円以上～1,200 万円未満	5.6%
1,200 万円以上～1,400 万円未満	2.5%
1,400 万円以上	3.9%

Q38.あなたの現在のお仕事の状態をお答えください。

正規の職員・従業員	37.5%
非正規の職員・従業員（パート、アルバイト勤務など）	15.8%
自営業	4.8%
専業主婦/主夫	12.7%
学生	14.0%
無職	13.3%
その他	1.9%

Q39.働いている方にお尋ねします。あなたのお仕事にもっとも近いものを1つお答えください。（有職者のみ n=4,039）

医療関係	10.7%
福祉関係	6.0%
交通関係	2.2%
運送関係	4.3%
飲食関係	5.5%
観光関係	1.6%
その他	69.7%

Q40.勤務されている方にお尋ねします。勤務について、テレワークや在宅勤務は行っていますか。（雇用されている人のみ n=3,705）

行っている	22.3%
行っていない	77.7%

Q41.あなたの通勤・通学時間について、もっとも近いものをお答えください。（通勤通学している人のみ n=5,013）

15 分未満	23.0%
15 分～30 分未満	24.6%
30 分～45 分未満	13.7%
45 分～1 時間未満	14.9%
1 時間～1 時間 30 分未満	13.0%
1 時間 30 分～2 時間未満	3.5%
2 時間以上	1.1%
テレワーク等でほとんど通勤・通学をしていない	6.2%

Q42.働いている方、学生の方にお尋ねします。今現在、会社や学校で新型コロナウイルス感染症予防に関する規則はありますか。(勤務、在学している人のみ n=5,013)

明確にある	49.5%
明確にはないが、暗黙のルールがある	34.7%
ない	15.7%

Q43.前問で「明確にある」「明確にはないが、暗黙のルールがある」と答えた方にお尋ねいたします。その規則や暗黙のルールはどの程度行動を制限するものですか。(Q42 にて「明確にある」「明確にはないが、暗黙のルールがある」と答えた人のみ n=4,224)

かなり制限するもの	16.3%
少し制限するもの	60.7%
制限はなく、注意程度	23.0%

Q44.あなたがふだん、学校や仕事、食事や睡眠以外で、自由に使える時間は 1 日平均どのくらいですか。

1 時間未満	5.0%
1 時間～2 時間未満	14.1%
2 時間～3 時間未満	22.9%
3 時間～4 時間未満	18.9%
4 時間～5 時間未満	11.3%
5 時間～6 時間未満	7.1%
6 時間以上	20.8%